

番号	70	大国像と大國井堰竣工記念碑 衆議院議員 山下徳夫書		
所在地	伊万里市二里町大里乙			
災害別	昭和２３年（１９４８）、昭和４２年（１９６７） 水害			
目的別	記念碑	建立年	昭和５９年５月	
特記事項				



大國井堰のいわれとなった大国像は、昭和23年9月の水害で流され、大國井堰も大きな被害を受けた。幸いその後大国像は発見され元の二里小学校前に鎮座している。その後、昭和42年7月8日～9日の水害で再び有田川が氾濫。それを受けて河川改修事業が起工され、あわせて大國井堰も改修された。大国像の横に建立されている大國井堰竣工記念碑には次のように記されている。

「碑文 私たちの祖先は粒粒辛苦大里の田地を拓いた。此の地に井樋を築き大國様をお祀りして治水の安穩五穀豊穰を祈念しながら農業を営んでまいりました。併しこの有田川はひと度豪雨に遇えば忽ちにして濁流渦巻く狂乱の河川と化し特に昭和23年42年の大水害は尊



国土地理院電子国土 Web

い人命を奪い家屋田畑に甚大なる損害を与えました。度重なる災害を未然に防止し地域住民安全確保の対策として恒久的有田川の改修が急務となり此処に佐賀県起業中小河川改修事業が施行され大國井堰も亦必然的に改修の要に迫られたのであります。以前のコンクリート固定堰を油圧式自動倒伏サイドアーム方式に改めてその上流約240米の現在地に移転新築されました。 昭和59年5月吉日 伊万里市長 竹内通教書」

